

平成30年度 佐賀市立春日小学校 学校評価計画

1 学校教育目標 「自分からかんがえ、すなおに がんばる 春日っ子の育成 ～温もり～」	2 本年度の重点目標 ① わかる授業に努め、基礎学力の定着と向上を図る。 ② 互いに思いやりの心を通わせ、温もりのある学級づくりを目指す。 ③ 開かれた学校を目指し、地域の特性をふまえた信頼される学校づくりを進める。
--	--

重点目標を具体的に評価するための項目や指標を定める

3 目標・評価 ① わかる授業に努め、基礎学力の定着と向上を図る。					
---	--	--	--	--	--

領域	評価項目	評価の観点 (具体的評価項目)	具体的目標	具体的方策	担当分掌(部)
教育活動	●学力の向上	わかる授業づくり	○児童、保護者アンケート項目「授業が分かる」に対する達成率が90%以上をめざす。 ○12月県学習状況調査で、昨年度よりアップをめざす。	・校内研究で研究授業を実施し、本校の課題である小集団学習のあり方を中心に研究を行い、授業力の向上を図る。 ・学力調査の分析を行い改善策について明示し、スキルタイム等で改善に向け全職員同方向で取り組む。 ・個別に計画的意図的な先進校視察を実施することにより、授業力の向上を実現する。	「思考と未来」部
		家庭学習の定着	○児童、保護者アンケート項目「家での勉強ができていく」に対する達成率が昨年度比5%アップを目指す。	・学力の状況や学校での取組の様子を積極的に情報提供したり、家庭学習状況調査（「春日っ子振り返り週間」）を実施したりすることにより、児童と保護者の学力向上に対する意識を向上させ、家庭学習の定着を図っていく。 ・家庭学習コーナーを定期的に更新したり、自主学習の参考例を情報提供したりすることにより、自主学習の活性化を実現する。	「思考と未来」部
		読書習慣の定着	○各学年の貸出冊数目標達成率が80%以上を目指す。	・読書数1人平均 低…120冊、中…100冊、高…80冊 めめざし、読書に親しみ、読解力の向上を実現する。 ・家庭での10分間読書を推進し、保護者と連携し読書習慣の定着を図る。	「仲間と体」部

② 互いに思いやりの心を通わせ温もりのある学級作りを目指す。					
--------------------------------	--	--	--	--	--

領域	評価項目	評価の観点 (具体的評価項目)	具体的目標	具体的方策	担当分掌(部)
教育活動	●いじめ問題への対応	いじめのない、温もりのある楽しい学校	○児童アンケート項目「学校生活が楽しい・いじめられたことがない」、保護者アンケート項目「学校生活を楽しくしている・いじめ防止への取組」に対する達成率が90%以上をめざす。	・「いじめ・いのちを考える日」や縦割り活動での取組の充実を図る。 ・年2回の「QUテスト」と月1回程度の「ここにこスッキリアンケート（いじめ防止に関するアンケート）」、月1回の生徒指導・教育相談会の実施により、児童理解に努めると同時に、気になる児童を早期発見し全職員で適切な支援を行う。 ・学校での取組の様子を学校便りや学校ホームページ等で積極的に発信し、保護者や地域との連携を密にしておく。	「命と心」部 生徒指導 教育相談
		●心の教育	挨拶・返事・掃除・スリッパ並べの定着	○児童アンケート項目「挨拶・返事・掃除・スリッパ並べがすすんでできる」、保護者アンケート項目「挨拶・返事ができる」に対する達成率が90%以上をめざす。	・ふれあい道徳を中心とした道徳教育や学級経営に関する研修の充実を図り、心の教育を推進する。（いじめ問題への対応 から移動） ・「温もり」を合い言葉に、全職員自ら範を示す。 ・生徒指導部や児童会活動と連携した挨拶・返事・掃除・スリッパ並べの重点週間の設定等、定着に向けた具体的な取組を提案し、全校あげて取り組んでいく。

③ 開かれた学校を目指し、地域の特性をふまえた信頼される学校づくりを進める。					
--	--	--	--	--	--

領域	評価項目	評価の観点 (具体的評価項目)	具体的目標	具体的方策	担当分掌(部)
教育活動	○開かれた学校づくり	体験活動の充実と情報公開	○児童、保護者アンケート項目「体験活動が楽しい・地域と共に取り組む学校づくり」に対する達成率が90%以上をめざす。 ○保護者アンケート項目「学校の様子が分かる」に対する達成率が90%以上をめざす。	・全学年で、地域の方との交流体験活動を年1回以上実施する。 ・特別非常勤講師等、地域の方の教育力を活用する。 ・HP、学校便り、学級通信、携帯メール等を活用し、積極的に情報を公開する。特に、児童の安全に関する情報については、迅速かつ正確な情報提供を行う。	教頭・主幹教諭・指導教諭 学年主任

本年度の重点目標に含まれない共通評価項目					
-----------------------------	--	--	--	--	--

領域	評価項目	評価の観点 (具体的評価項目)	具体的目標	具体的方策	担当分掌(部)
教育活動	●健康・体づくり	運動・生活習慣の定着化	○アンケート項目「運動・遊び」「早寝・朝起き・朝ご飯」「給食」に対する達成率が90%以上をめざす。 ○全国体力・運動能力、運動習慣等調査で昨年度よりアップをめざす。	・体育的行事や縦割り活動をととして、「運動大好きな子ども」を育てる。 ・「春日っ子振り返りカード」を分析し、改善策について家庭にも知らせ、連携して取り組む。 ・栄養教諭による食育に関する授業を実践し、食に対する意識の向上を図る。 ・学級通信や連絡帳を活用し、学校や家庭での児童の様子について情報を共有化する。	「仲間と体」部 保健体育・食育
学校運営	●業務改善・教職員の働き方改革の推進	校務等の効率化の促進	○会議、各種研修の効率化を図り、時間の短縮及び長期休業中の研修回数の削減を行う。 ○定時退勤の意識を高め、教職員の時間外勤務について1か月当たり前年度比10%削減する。	・年間の会議や研修の内容を検討し、それらにかかる時間を決め、終了時刻を厳守する。 ・各個人の勤務時間内の時間の使い方について振り返るミニ研修を行い、仕事や作業にかかる時間短縮を図る。時間外勤務は、出退勤時、PCによる管理を行う。	教頭・主幹教諭 指導教諭 学年主任

●は共通評価項目のうち必須項目、○は独自評価項目